



大阪ガス

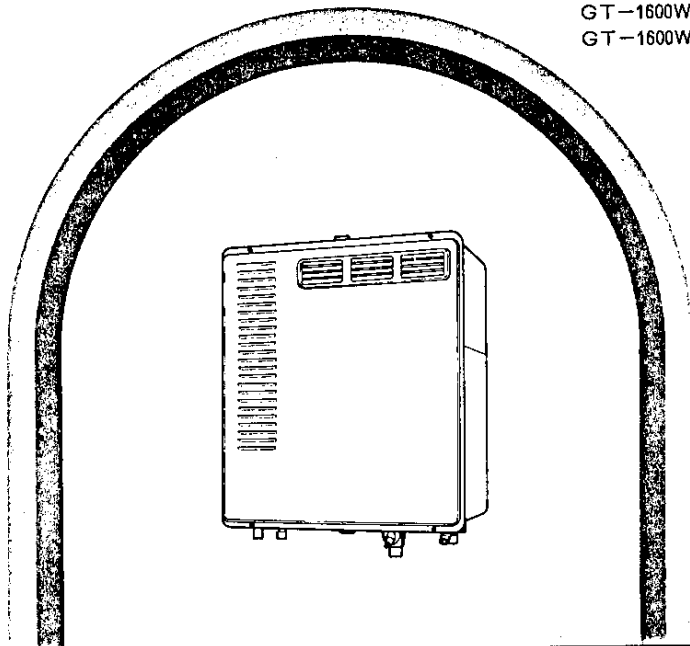
ガス追焚機能付湯沸器

取扱説明書

31-290型 31-293型
31-291型 31-294型
31-292型

保証書付

型式名GT-1600WM
GT-1600WM-T
GT-1600WM-TB



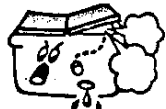
ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとせんでも閉
める習慣を



お風呂の空だき
水もれ、沸かしすぎ
にご注意



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。 SAC8220

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス追焚機能付湯沸器をお求めいただき、ありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

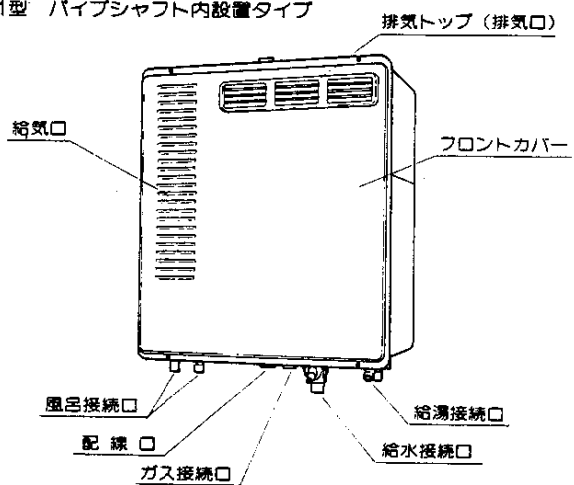
●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	6
●器具の設置	9
●使用手順	10
●冬期の凍結による破損防止について	14
●故障異常の見分け方と処置方法	17
●日常の点検・手入れ	20
●長期間使用しない場合	20
●アフターサービスのお申し込み	21
●特長	22
●寸法図と仕様一覧表	22
●本製品と快適なくらしのために	26

各部の名称

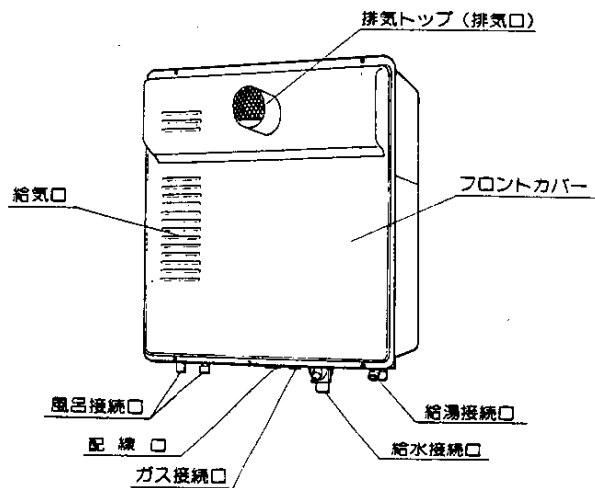
器具本体

31-290型 標準タイプ

31-291型 パイプシャフト内設置タイプ

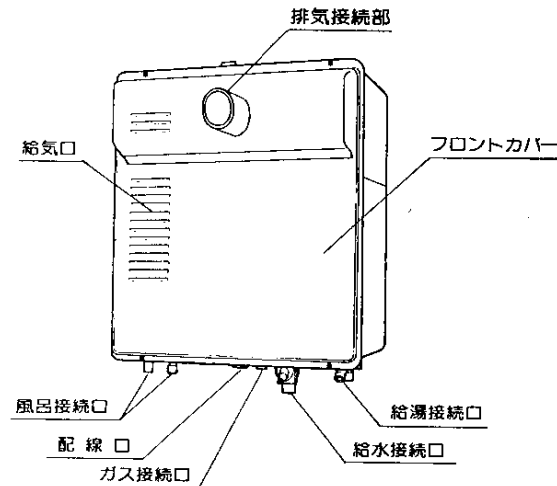


31-292型 扉内設置タイプ

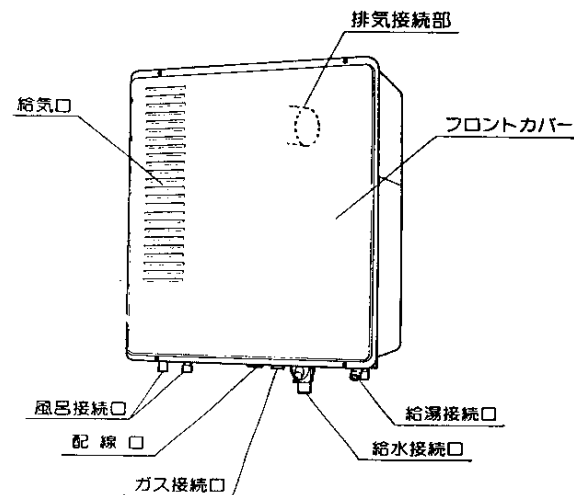


各部の名称②

31-293型 排気延長タイプ

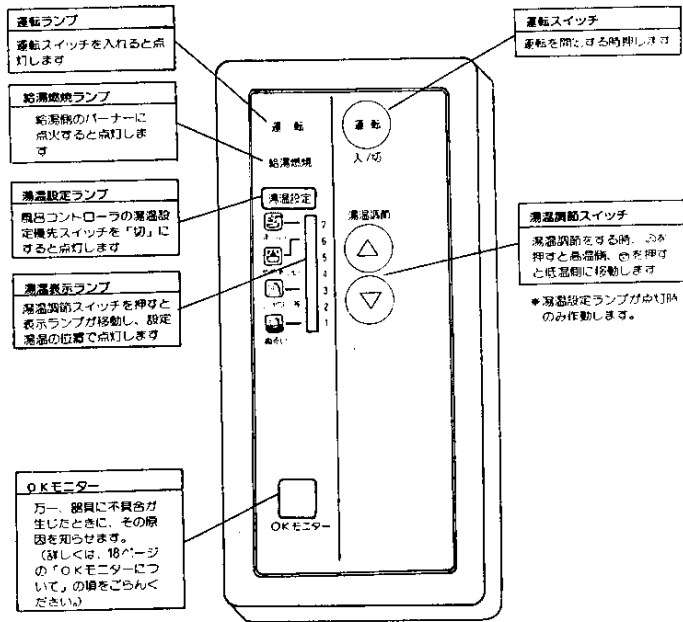


31-294型 扉内後方排気タイプ



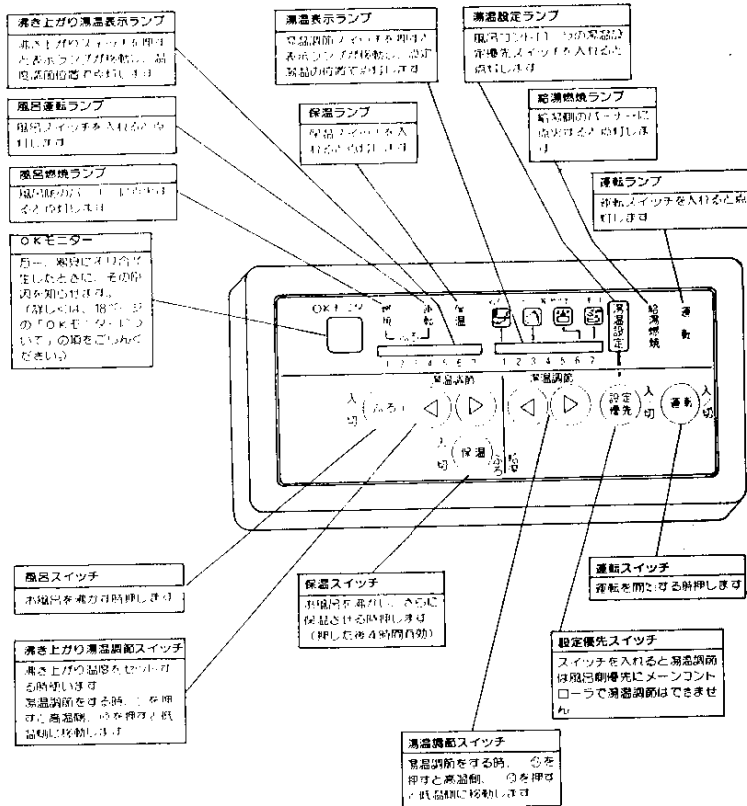
各部の名称③

メインコントローラ



各部の名称④

風呂コントローラ



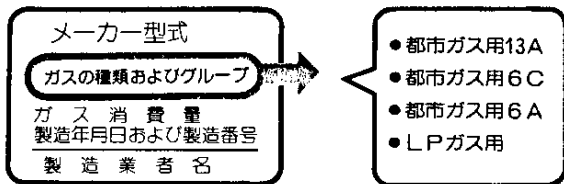
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具本体の前面にはついている銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

（銘板）



- 都市ガス用13A
- 都市ガス用6C
- 都市ガス用6A
- LPガス用

- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー及び風呂の追焚き以外の用途には使用しないでください。
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理用に用いないでください。

使用場所についてのご注意

- 壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

特に注意していただきたいこと②

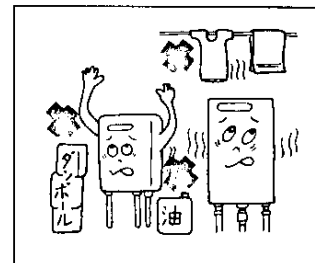
使用上のご注意

ガス漏れ予防

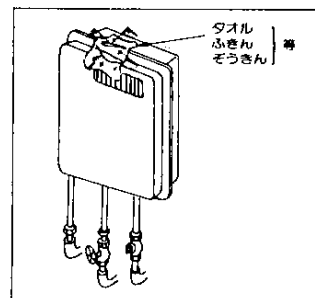
- お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしないかとときどき確かめてください。

火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。



- 排気部の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしてしないでください。

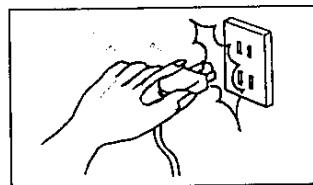
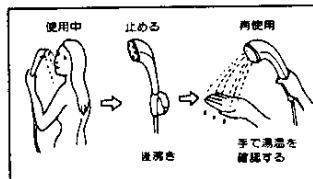
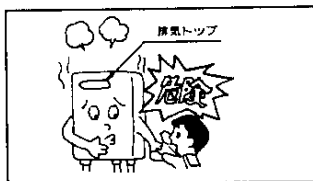


特に注意していただきたいこと③

使用上のご注意

やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体の排気トップとその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯が出ることがありますので、ご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップにご連絡ください。
(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。

凍結についてのご注意

- この器具には、冬期の凍結による破損予防のために「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒期には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので器具内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。
(詳しくは14~16ページの「冬期の凍結による破損防止について」の項にしたがって処置をしてください。)

凍結したとき

- ①器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、10ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

特に注意していただきたいこと④

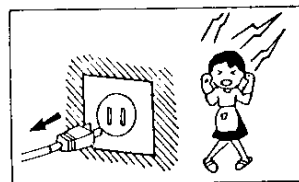
使用上のご注意

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。
(故障異常の見分け方と処置方法については17ページをお読みください)

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞こえてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源コードが埋込まれている場合は、元のプレーカで切ってください)
- 雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは20ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずに大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

健浴剤や洗剤についてのご注意

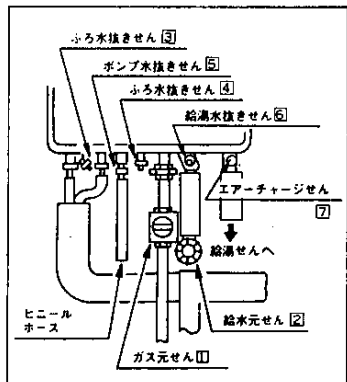
- 硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

器具の設置

(詳しくは工事説明書をお読みください)

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

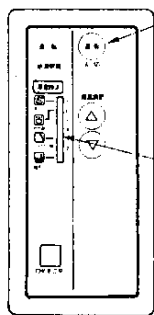
使用手順



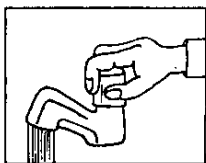
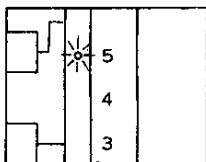
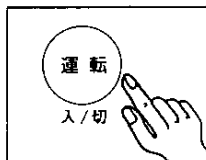
■点火前の準備と確認

- (1)給水元せん②を開き、すべての給湯せんから水の出ることを確認してください。また、水抜きせん③④⑤⑥、エアチャージせん⑦が確実にしまっているか確認してください。
- (2)ポンプ水抜きせん④に接続しているビニールホースを給湯水抜きせん⑥に接続し、ポンプ水抜きせん④及び給湯水抜きせん⑥を左に回してあげポンプに呼水を入れてください。(ふろ水抜きせん③をあけておき、ここから水が出るまで)その後ふろ水抜きせん③ポンプ水抜きせん④給湯水抜きせん⑥を右に回してしめてください。
- (3)ガス元せん①を開いてください。
- (4)電源プラグをコンセントに差し込んでください。

給湯します



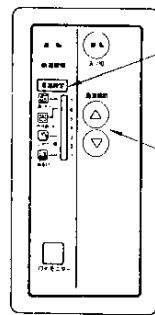
- 1 運転スイッチを「入」にします**
(風呂コントローラでもかまいません)
運転ランプ、湯温設定ランプ、OKモニター④が点灯します
- 2 湯温表示ランプが設定した位置で点灯します**
- 3 給湯せんを開ければお湯が出ます**
給湯燃焼ランプ(赤色)が点灯します
使用后、給湯せんを閉じると、給湯燃焼ランプが消えます



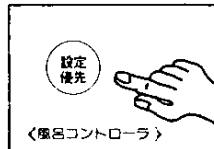
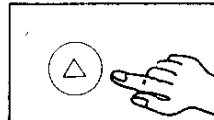
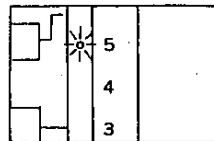
使用手順②

湯温調節をします

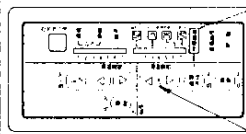
〈メインコントローラで湯温調節する時〉



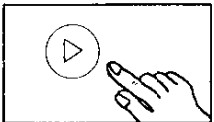
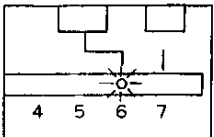
- 1 湯温設定ランプの点灯を確かめます**
- 2 湯温調節スイッチを押します**
湯温調節スイッチで湯温を設定します。②を押すと高温に、③を押すと低温になります。
- 3 湯温表示ランプが点灯しない場合**
風呂コントローラの「設定優先」スイッチを押すと、メインコントローラの湯温調節ランプが点灯します



〈風呂コントローラで湯温調節する時〉



- 1 湯温設定ランプの点灯を確かめます**
- 2 湯温調節スイッチを押します**
湯温調節スイッチで湯温を設定します。②を押すと高温に、③を押すと低温になります



■湯温設定 (出湯温度は目安です)

表示	番号	出湯温度 [°C]
あつい	7	78
ややあつい	6	50
	5	46
	4	44
シャワー等	3	42
	2	40
ぬるい	1	38

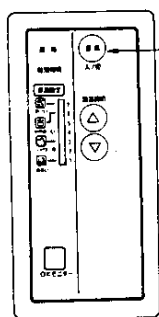
出湯温度は夏場、水温の高い場合は設定温度より高くなり、冬場水温の低い場合は設定温度より低くなる場合があります。

使用手順③

■お風呂を沸かす前に

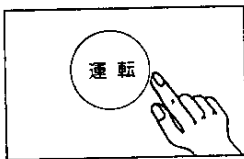
1. 浴槽の排水せんを水漏れしないよう排水口にしっかりと差込んでください。
2. 浴槽に湯（又は水）を適量張ります。
 - このとき、湯（又は水）が風呂アダプターより5cm以上、上にあるようにしてください。
 - 給湯してから沸き上げる方が早く効率よく、沸かせます。水から沸き上げると時間がかかりますが、夏場、置き水をする場合などは、ムダなく沸き上げられます。

お風呂を沸かして保温します



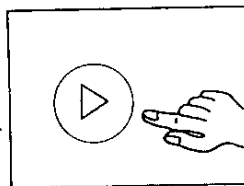
1 運転スイッチを「入」にします

（メインコントローラ、風呂コントローラどちらでもOK）
運転ランプ（緑色）が点灯します。

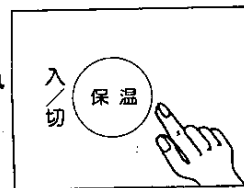


2 沸き上がり湯温調節スイッチ（風呂コントローラ）で、保温したい温度を設定します

②を押すと高温側へ、③を押すと低温側へランプが移動します。



3 保温スイッチ（風呂コントローラ）を「入」にします



4 設定温度まで、自動的に沸き上げ、その温度で保温します

（保温スイッチを押してから4時間有効）

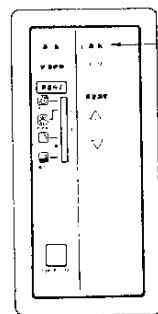
設定温度の目安

番号	沸き上がり温度℃
7	50
6	45
5	43
4	42
3	41
2	40
1	38

※設定温度の目安を参考にし、沸き上がり温度を決めてください。

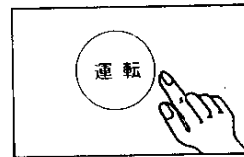
使用手順④

お風呂を沸かします。追い焚きします。（保温しない場合）



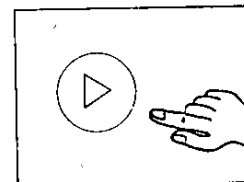
1 運転スイッチを「入」にします

（メインコントローラ、風呂コントローラどちらでもOK）
運転ランプ、湯温設定ランプ、OKモニターが点灯します。



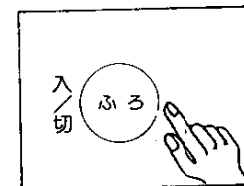
2 沸き上がり湯温調節スイッチ（風呂コントローラ）で、保温したい温度を設定します

②を押すと高温側へ、③を押すと低温側へランプが移動します。



3 ふろスイッチ（風呂コントローラ）を「入」にします

ふろ燃焼ランプ（赤色）が点灯し、追い焚きが始まります。



4 設定温度になると自動的にストップします

ふろ燃焼ランプは消灯します。

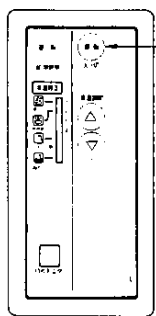
設定温度の目安

番号	沸き上がり温度℃
7	50
6	45
5	43
4	42
3	41
2	40
1	38

※設定温度の目安を参考に、沸き上がり温度を決めてください。

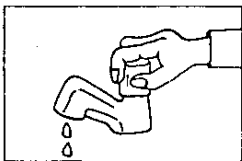
使用手順⑤

使用後について



1 給湯せんを閉じます

使用后、給湯せんを閉めれば自動的に火は消えます。給湯せんを完全に閉めて、お湯の出を止めてください。



2 運転スイッチを押し「切」にします



停電後の使用方法

使用を中止し、運転スイッチを「切」にしてください。通電後、各々の操作をします。

長時間使用しない場合

長時間使用しない場合は、運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんを閉めてください。



冬期の凍結による破損防止について

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による方法

- この器具は、外気温がさがってくると自動的に凍結予防ヒーターが器具内を保温し、追焚き部分の凍結を防止するためポンプが回りますが、異常ではありません。
 - この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。又浴そうの残り湯がないと凍結防止効果が低下しますので、残り湯はすてないでください。
- ※配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻きつけてください。

冬期の凍結による破損防止について②

通水による方法

この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。ただし、浴そうへの追だき配管には効果がありませんので、追だき配管の露出部には保温材を巻きつけるかして十分に保温してください。

1. ガスの元せんをしめます。
2. 運転スイッチを「切」にします。
3. 給湯せんをあげ1分間に約200cc(牛乳ビン1本ぐらい) (特に寒い日は多目に)を流してください。
※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

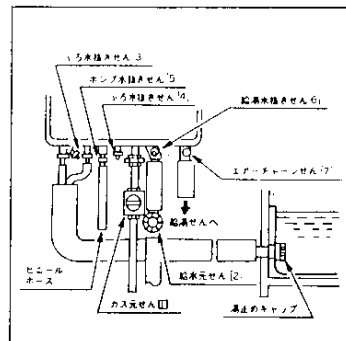
器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

※ふる側から先に水抜きを行なってください。

(ふる側)

- ①浴そうの水を排水する。
- ②<1階に浴室がある場合>
風呂コントローラのふる運転スイッチを押して(ふる運転ランプ点灯)、湯止めキャップより水が出ることを確認する。5分程度そのままにする。
<2階に浴室がある場合>
ふる水抜きせん③を左に回してあけた後、ふる運転スイッチを押し、ふる水が出てくることを確認する。
- ③排水の完了を確認後、ふる運転スイッチを押し、ふる運転ランプの消灯を確認する。
- ④ガス元せん①をしめる。
- ⑤ポンプ水抜きせん④をあける。



※ふる側の水抜きを行なった後は浴そうに水を流しこまないでください。

冬期の凍結による破損防止について③

〔給湯側〕

⑥メインコンローラの運転スイッチを「切」にし（運転ランプ消灯）、電源プラグを抜く。

⑦ガスの元せん①をしめてあるのを確認する。

⑧給水元せん②をしめる。

⑨すべての給湯せんを全開にする。

⑩給湯水抜きせん④を左に回してあげる。

⑪エアチャージせん⑦を左に回してあげる。

●以上の操作で器具内の水は排水されますので、ポンプ水抜きせん⑤と給湯水抜きせん④より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

●再使用する場合

※給湯側より先に行なってください。

〔給湯側〕

①給湯水抜きせん④、エアチャージせん⑦およびすべての給湯せんをしめる。

②給水元せん②をあけてすべての給湯せんから水が出るのを確認する。

〔ふる側〕（ポンプの呼び水の方法）

③ポンプ水抜きせん⑤に接続されているビニールホースの先端を給湯水抜きせん④に接続し、給湯水抜きせん④を左にまわしてポンプに水を入れる。

（約600ccふる水抜きせん④から水が出るまで入れる。）

④ポンプ水抜きせん⑤、給湯水抜きせん④、ふる水抜きせん④をしめる。

⑤浴そうに水を入れる。

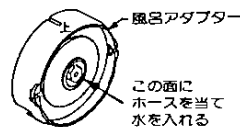
⑥ガス元せん①をあげ、電源プラグをコンセントに差し込む。

⑦ふる運転スイッチを押すと、湯止めキャップより気泡が出た後、正常になり燃焼ランプが点灯する。（気泡が出てこない場合は、ポンプ水抜きせん⑤よりもう少し水を入れてから、ふる運転スイッチを押す。）

●以上の操作を行ってからご使用ください。

●ポンプへの呼水の入れ方は次の方法でも可能です。

フィルターキャップとフィルターを取り外し風呂アダプターの中心にホースを当て充分水を入れてください。（右図）



※現場施工の状態により、「凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による方法」や「器具内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

故障異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

次のような場合は故障ではありません

①最低作動水量について

この器具は、器内の通水量が最低作動水量（2.5ℓ/分）以下になったときは点火しませんので、故障とお間違いないように、ご注意ください。

②同時給湯について

2箇所同時にお湯を使用するとき、給湯配管の方法、給湯せんの開きくあいによって、それぞれの給湯せんのお湯の量が異なることがあります。特に湯沸器から遠い場所、高い位置の給湯せんでは、お湯の出ない場合もあります。また、シャワーをご使用中に、他の給湯せんを同時使用しますと湯温や湯量が変動しますので、ご注意ください。

③排気トップからの白い煙について

冬期（外気温が低いとき）には、排気ガス中の水分が水蒸気になるために排気トップから白い煙が出ることがあります。

これは、人のく息が白くなるのと同じ現象ですので、何ら心配はありません。

④60分以上連続給湯又は90分以上連続追い焚きした場合、自動的に運転を中止します。

現象 原因	点火しない				使用中に消火する	湯が安定しない	湯火で燃える	低温のお湯が出ない	低温のお湯が出ない	風呂の湯きあがりが多い	処置方法	参照ページ
	運転ランプが点灯しない	燃焼ランプが点灯しない	燃焼ランプが点滅する	燃焼ランプが点滅しない								
ガス元せんの開き忘れ	○	○	○	○							ガス元せんを全開にする	
ガス元せんの開き不足											ガス元せんを全開にする	
ガス圧が適切でない											*	
電源プラグが抜けている	○	○	○	○							コンセントにしっかりと差し込む	
排気安全装置の作動	○	○	○	○							燃焼ランプが点灯しないときは、ガス元せんの開きを確認し、十分なガス圧を確保して再使用してください。	19
停電している	○	○	○	○							使用を一たん中止する	
安全装置の作動											*	
バーナー炎（トップ）											*	
出湯量が少なくなる											給湯せんを少し絞る	
湯温調節機能を切替えていない												11
給水元せんの開き不足	○	○	○	○							給水元せんを全開で使う	
給水元せんの開き忘れ	○	○	○	○							給水元せんを全開で使う	
湯温調節が適切でない												11
ふる湯器ポンプの排水不足	○	○	○	○								16
浴そうフィルターが詰まり	○	○	○	○								20

なお※印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちに買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

OKモニターについて

OKモニター：この表示は器具が正常に運転しているかを示すものです。

通常は0を表示しておりますが、使用上もしくは器具の故障等で異常があった場合は0以外の表示（点灯又は点滅）をします。

表示ナンバー	点灯/点滅	内 容	対 処	備考
0	点 灯	通常0が表示されます。 (運転スイッチONで表示します)但し、配管等の異常で器具内のコントローラでわからないものがあります。	—	—
1	点 灯	入水温の検知装置の不具合	—	*
2	点 灯	出湯温の検知装置の不具合	—	*
3又はE	点 灯	炎(燃焼)感知装置の不具合	運転スイッチをいったん「切」にし数秒まって再度「入」にして0になれば異常ではありません。	*
5又はH	点 滅	60分以上連続給湯または90分以上連続過熱した場合に点滅します。	ガス元せん(ガスボンベ)が開いているか調べてください。又過熱防止装置の作動している場合があります。 (19ページ参照)	—
5又はL	点 滅	器具の不具合を感知して安全動作の状態になっています。	—	—
7又はP	点 滅	—	—	*
8	点 灯	能力最小で燃焼しています。	湯温設定を高温側又は湯量を多く(カランを全開にする)し0になれば異常ではありません。	—
9	点 灯	水温の検知装置の不具合(風呂側)	—	*
U	点 滅	器具の不具合を感知して安全動作の状態になっています。	—	*
C	点 灯	呼び水不足(風呂側)	呼び水をする (16ページ参照)	—

故障・異常の見分け方と処置方法③

安全装置が作動したときの処置方法

■バーナー安全装置

- 使用中に万一、バーナーの炎が消えても、安全装置が働いて自動的にガスが止まり燃焼ランプが点滅します。
給湯せんを閉めてから運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから再度「入」にしてください。

■過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 使用中器具内の温度が異常に上昇したときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

■残火安全装置(ハイリミットスイッチ)

- 万一、熱交換器内が空焚状態、または異常温度となった場合に作動し、自動的にガスが止まります。
- この装置が働くと器具の診断が必要です。ガス元せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを切ってからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社へご連絡ください。
- 燃焼ランプが点滅している時は、いったん運転スイッチを「切」にして、しばらくしてから「入」にしてください。
- 再び燃焼ランプが点滅する場合は運転スイッチを「切」にしてからガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

■漏電安全装置

- 使用中に器具に異常が生じ、漏電安全装置が働くと、運転ランプ及び燃焼ランプが消えます。このとき電源プラグをいったん抜き、再度「入」にしてください。
またこの装置が頻りに作動する場合は器具の点検が必要です。

■処置方法

- 18ページの「OKモニターについて」の項をごらんになり、異常原因に応じた処置をしてください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- ①器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- ②点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- ③フロントカバーなどは、外さないでください。

点検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをあいていませんか？
- 排気トップ（排気口）や給気口をふさいでいませんか？

お手入れ

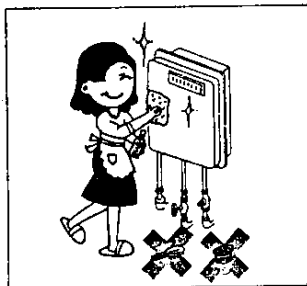
①外装の掃除

やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。

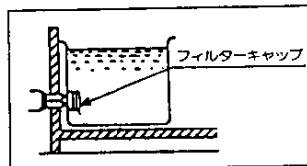
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください）

②風呂アダプターのフィルター掃除

浴そう内のフィルターキャップを外し、内部のフィルターを月に1回程度掃除してください。



フィルターキャップは「上」とマークのある方を上にして取り付けてください。



長期間使用しない場合

長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。
（器具の中の水を抜く方法については15～16ページをお読みください）

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 17ページ「故障異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ①品 名……ガス追焚機能付湯沸器
- ②品 番……器具の正面下側に貼付してあります。

（例）

(4) 31-290 (U)

大阪ガス株式会社 06

③現象……できるだけ詳しく

④道 順……できるだけ詳しく

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

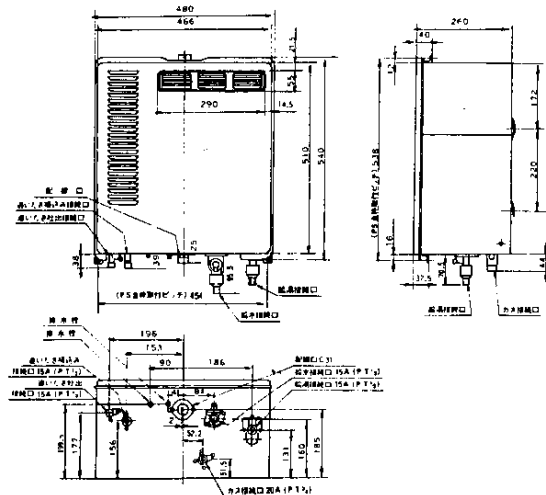
- この器具には保証書がついています。
このガス追焚機能付湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されると、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

1. コンパクトなセットフリータイプで、器具と浴室が離れていても（15m 10曲りまで）お風呂が沸かせます。
2. 給湯しながら同時にお風呂の追い焚きができます。
3. お風呂沸かしは、設定温度で自動的に消火し、沸かしすぎの心配や、ガスのムダがありません。
4. 4時間の保温機能がついて、いつでも温泉気分が楽しめます。
5. 高感度な電子コントロールで、ガス量・水量をきめ細かく調節しますので、いつでも安定したお湯をご使用になれます。
6. 万一、器具の故障が起きても、原因がひと目でわかるOKモニターが付いているので安心です。

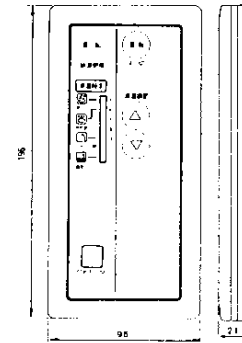
寸法図と仕様一覧表

- 器具本体（31-290型）標準タイプ
- （31-291型）パイプシャフト内設置タイプ

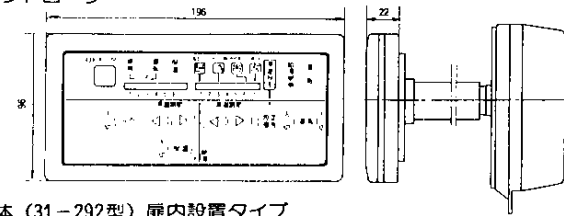


寸法図と仕様一覧表②

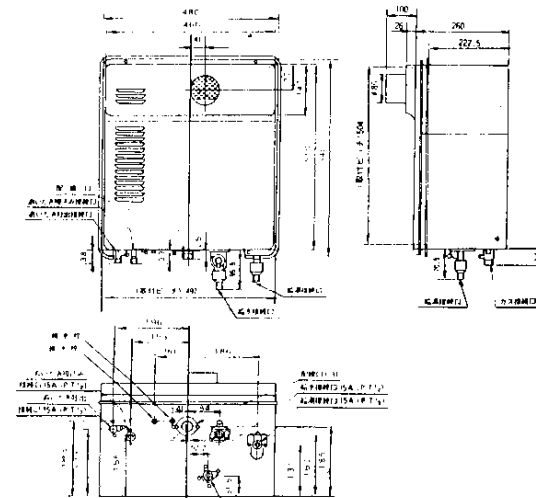
- メインコントローラ



- 風呂コントローラ

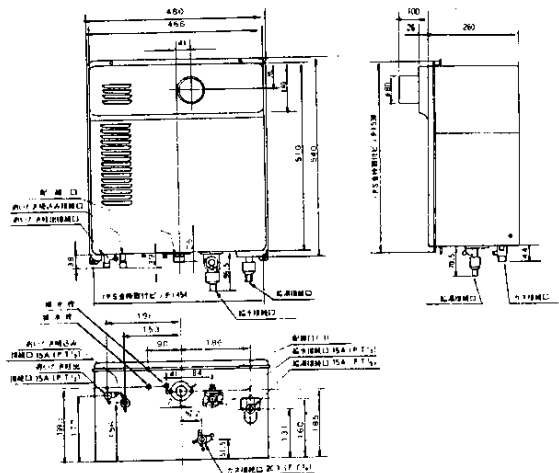


- 器具本体（31-292型）扉内設置タイプ

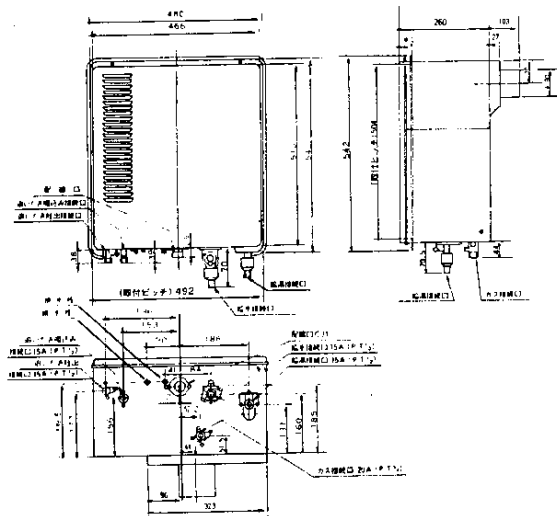


寸法図と仕様一覧表③

●器具本体 (31-293型) 排気延長タイプ



●器具本体 (31-294型) 扉内後方排気タイプ



寸法図と仕様一覧表④

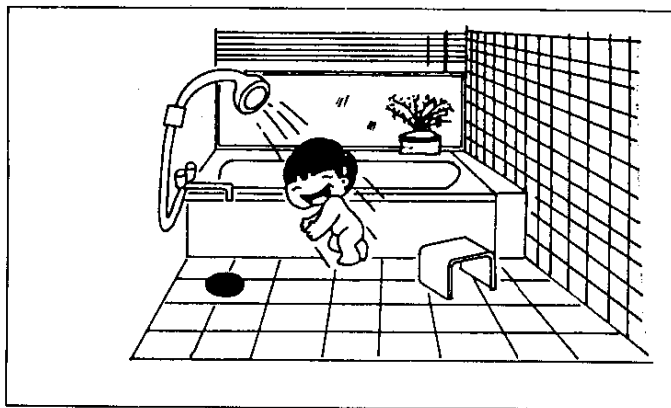
仕様一覧表

項目	種別	31-290、31-291、31-292、31-293、31-294型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	L P ガス
ガス消費量 (Kcal/h)	給湯	30500	30500	30500	2.55kg/h
	風呂	12000	12000	12000	1.0 kg/h
外形寸法 (mm)		高さ540×幅480×奥行260			
重量 (kg)		36			
接続	ガス	20A (PT $\frac{1}{2}$)			
	給水	15A (PT $\frac{1}{2}$)			
	給湯	15A (PT $\frac{1}{2}$)			
	風呂入水	15A (PT $\frac{1}{2}$)			
	風呂出湯	15A (PT $\frac{1}{2}$)			
電気消費量 (w)	電気	AC100V、60Hz			
点火方式		230 (凍結予防ヒーターは112)			
最低作動水圧 (kg/cm 2)		連続スパークによるダイレクト点火			
最低作動水量 (ℓ/分)		0.1			
安全装置		2.5			
		バーナー安全装置、過熱防止装置			
		残火安全装置、凍結予防ヒーター+自動ポンプ運転 過圧逃し弁、空だき防止装置 漏電安全装置			
白水協認可登録番号		A-2849			

ガス種別	出湯能力 (能力最大) (ℓ/分)		
	上昇温度	水温 + 25℃ 上昇	水温 + 40℃ 上昇
都市ガス	6C	(16.5)	10.3
	13A	(16.5)	10.3
	6A	(16.5)	10.3
L P ガス		(16.5)	10.3

※ () 内の出湯能力は計算値です。

本製品と快適なくらしのために



年中、快適に風呂給湯と、追い焚き、シャワー、上り湯が使用できます。
又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の完せ角を閉め、窓を全開してから
(双気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡と
ださい。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出町2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (304) 1251
堺支社	〒580 堺市住吉南町2丁目2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569 高槻市篠の里3-9-6	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578 東大阪市塚元2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
大阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池地蔵屋町358	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631 奈良市宇治北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町幸津2-9の1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525 岸和田市船場字飛堀680の1	☎岸和田 0775(62) 5311
彦根支社	〒522 彦根市大塚町12番11号	☎彦根 0749(22) 3131
長浜営業所	〒526 長浜市南宮原町3番4号	☎長浜 07496(2) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

大阪ガス株式会社